

未来の看護を創出し
世界に発信する

研究科案内2025

医学研究科 看護学専攻

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE
DEPARTMENT OF NURSING

博士前期課程
博士後期課程

看護学専攻の教育・研究の特色

看護学の高度な専門性の追求ならびに看護学の実践的研究能力を培い、現場の改革に向けて実践的に学んでいきます。

■ 多様な科目構成

専攻内で履修可能な共通科目は全部で12科目。その中から専門性の追求や課題解決に必要な科目を自由に組み合わせ履修していくことができます。

科目例	内容
看護コンサルテーション論	事例検討を通じて、コンサルタント、コンサルティの役割を体験しながら、コンサルテーションの実際を学びます。
看護継続教育学	インストラクショナルデザインをベースとした学習者中心の研修プログラムの企画・実施・評価を、看護のプロフェッショナルの観点から学びます。
高度実践フィジカルアセスメント論	複雑な健康問題を有する患者に対して卓越した直接ケアを提供するために必要なフィジカルアセスメントの知識と技術を習得します。
看護統計学	看護学分野における量的研究が実施可能になるよう、医療での研究で多用される統計学的手法について、実際に分析を行いながら学びます。

■ 高度実践看護師の育成

看護学専攻では国公立大学の中でも多彩な高度実践看護師を育成するためのコースを有しており、多くの修了生が臨床で活躍しています。がん看護学分野、老年看護学分野、小児看護学分野、感染看護学分野、精神看護学分野は、一般社団法人日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程として認定されています。また、クリティカルケア・周麻酔期看護学分野では、術中麻酔管理領域パッケージの他、クリティカルケア分野に必要な看護師特定行為研修（8項目）が受講できます。2021年度からは、助産学分野（助産師国家試験受験資格取得可能）に加え、2022年度から専門的な知識と技術を持った臨床看護教育者を育成することを目指し、看護プロフェッショナル教育学分野を開設いたしました。

専門看護師（CNS）合格者 （累計2024年3月時点）	がん看護 8名	老人看護 8名	小児看護 1名	感染症看護 11名	精神看護 25名
周麻酔期看護師 （累計 2024年3月時点）	周麻酔期看護師 （術中麻酔管理領域） 22名	その他の特定行為研修終了者 （PICCの挿入） 8名			

博士前期課程 各看護学分野 分野長紹介



赤瀬 智子 教授
Prof. Tomoko Akase

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟616研究室

E-mail
akase@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

薬剤師免許、看護師免許取得後
金沢大学大学院自然科学研究科生命科学専攻博士課程修了 博士（薬学）
北里大学病院、昭和薬科大学薬学部助教、東京大学大学院医学研究科助教、
東海大学健康科学部准教授を歴任、2012年より現職



researchmap

看護生命科学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

1. 適正な与薬方法に関する研究（看護薬理学研究）
2. 科学的根拠に基づくスキンケア方法の開発（肥満や化学療法に伴う皮膚障害・創傷）
3. クリティカルケア・周術期におけるアセスメント指標の開発、ほか

■ 研究指導方針

臨床上の問題について、病態メカニズムから科学的根拠ある看護ケア・アセスメント指標を追究していきます。ベーシックサイエンスを基盤とし、多職種研究者と議論し、看護を可視化します。



看護生命
科学領域

クリティカルケア・周麻酔期看護学分野（課題研究）

■ 研究テーマ

1. 鎮痛鎮静管理・せん妄予防・睡眠障害に関する研究
2. 周術期の麻酔管理に関する研究
3. 術後の合併症予防およびQOL低下に対する評価指標の開発、ほか

■ 研究指導方法

基礎および臨床の双方の視点から、科学的根拠のある麻酔看護を追究していきます。重症患者および周術期患者に対し、cureとcareの両側面から包括的アセスメントができる周麻酔期看護師（特定行為の取得を含む）を育成します。



佐藤 政枝 教授
Prof. Masae Satoh

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟704研究室
E-mail
m_satoh@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 兵庫県立看護大学卒業・同大学院看護学研究科修士課程修了 修士（看護学）
筑波大学大学院人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程修了 博士（医学）
大阪大学医学部附属病院（看護師）、名古屋市立大学（助手）、
首都大学東京（准教授）、埼玉県立大学（教授）を経て、2016年より現職

基礎看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

- 1. 看護実践の知の可視化と共有化に資する研究
- 2. 人々の病気や障害に伴う環境移行に資する研究
- 3. 看護におけるリスクファクターの予測やリスクモデルの開発に関する研究、ほか

■ 研究指導方針

看護実践に資するエビデンスの創成と理論構築に向けて、人間-環境系の理論に立脚し、対象となる人々を中心として、その周囲の環境にも働きかける看護の方略を学問として探究することを支援します。

看護プロフェッショナル教育学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

- 1. 看護のプロフェッショナルリズムならびにプロフェッショナル・アイデンティティに関する研究
- 2. インストラクショナルデザインベースの教育プログラムの開発
- 3. 看護のキャリア開発ならびに人材育成に資する研究、ほか

■ 研究指導方針

看護のプロフェッショナルリズムやプロフェッショナル・アイデンティティの本質に迫る実践理論と教育実践のエビデンスの創成に向けて、看護の人材育成やキャリア開発に資する学習者中心の教育を探究することを支援します。



researchmap



佐藤研究室
ウェブサイト



勝山貴美子 教授
Prof. Kimiko Katsuyama

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟705研究室
E-mail
katuyama@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程看護管理学修了 修士（看護学）
名古屋大学大学院医学系研究科博士課程医療管理情報学修了 博士（医学）
日本医科大学付属病院勤務、名古屋大学医学部保健学助手、
大阪府立大学看護学部看護管理学分野准教授など歴任、2011年より現職

看護管理学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

- 1. 医療従事者・患者関係とアウトカムに関連する研究
- 2. 地域及び病院における医療連携や組織倫理に関する研究
- 3. 看護管理者の教育プログラムの開発と評価に関する研究、ほか

■ 研究指導方針

看護を実践する人の動機付けや能力を高め、組織としての成果を最大限にする方法を探求します。学生の研究疑問を大事にし、自律的に学ぶことを支援します。



researchmap



千葉 由美 教授
Prof. Yumi Chiba

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟612研究室
E-mail
ychiba@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 東京医科歯科大学医学部保健衛生学専攻
東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了、同校博士取得（看護学）
所沢市保健福祉部、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科助教、
千葉県立保健医療大学健康科学部准教授、University of Pennsylvania, School of
Nursing Visiting Scholarを経て、2013年1月より現職

先端成人看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

- 1. 重症成人系疾患の合併症管理・症状マネジメント（摂食嚥下障害看護を含む）に関する研究
- 2. 先進的・集学的医療（移植・再生医療を含む）を必要とする患者に対する高度看護実践に関する研究
- 3. 重症・希少疾患をはじめとする重症患者へのチーム医療ならびに看護支援システム開発と評価に関する研究、ほか

■ 研究指導方針

重症・希少疾患を含む様々な疾患を有する成人期以降の患者とその家族に対する先進的・集学的医療や看護といった臨床課題に対し、学術的手法や高い倫理観を持って自己解決、国際的活躍が可能な研究者・高度実践家の育成を目指します。



researchmap



玉井 奈緒 教授
Prof. Nao Tamai

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟609研究室
E-mail
tamai.nao.tx@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 金沢大学医学部保健学科卒業・同大学院医学系研究科保健学専攻修士課程修了(保健学)
東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士課程修了(保健学博士)
(財) 聖路加国際病院(看護師)
東京大学大学院医学系研究科(助教・特任講師・特任准教授)、2022年より現職



researchmap



成人看護学
ウェブサイト

成人看護学分野(特別研究)

■ 研究テーマ

1. 症状マネジメントや療養生活の支援に必要なケア技術の開発・評価
2. エコーなどの可視化技術を用いたアセスメント法の開発・評価
3. 皮膚・排泄ケア技術の開発・評価

■ 研究指導方針

看護理工学研究の手法を活用し、臨床のニーズの把握から病態解明、看護に必要なシステムやモノづくりなど、幅広い視野と思考力を習得できるよう支援します。

がん看護学分野(課題研究)

■ 研究テーマ

1. がんと共に生きる人を支えるケア・教育・実践に関する研究
2. 症状マネジメントや療養生活の支援に必要なケア技術の開発・評価
3. エコーなどの可視化技術を用いたアセスメント法の開発と実装研究

■ 研究指導方針

臨床のニーズに基づいた科学的かつ学術的な研究を通して、自立・自律して研究・高度看護実践ができるがん専門看護師を育成します。



叶谷 由佳 教授
Prof. Yuka Kanoya

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟710研究室
E-mail
ykano@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 千葉大学看護学部卒、東京大学大学院医学系研究科修士課程修了・博士課程満期退学、
東京医科歯科大学大学院論文博士取得(看護学博士)
千葉県がんセンター、東京医科歯科大学助手、神戸市看護大学助教授、
山形大学教授を経て、2012年より現職



researchmap

老年看護学分野(特別研究、課題研究)

■ 研究テーマ

1. 高齢者の健康増進に関する研究
2. 老年看護・介護の質向上に関する研究
3. 在宅看護・地域包括ケアシステムに関する研究、ほか

■ 研究指導方針

老年看護学におけるケア方法、管理、システム、病院～介護施設・在宅等、学生個人が関心をもったテーマが追究できるよう、少子高齢社会に必要とされる幅広い視点・幅広い場で必要な研究について指導します。



佐藤 朝美 教授
Prof. Tomomi Sato

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟619研究室
E-mail
sato0515@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了 修士(看護学)
日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了 博士(看護学)、
東京都立病院(看護師・主任)、東京都衛生局医療計画部(主任・係長)、
東海大学、東京医療保健大学(准教授)、横浜市立大学(准教授)を経て、
2022年2月より現職



researchmap

小児看護学分野(特別研究、課題研究)

■ 研究テーマ

1. 重症心身障害児の意思決定・コミュニケーション支援開発に関する研究
2. 病気や障がいをもつ子どもの発達・療養支援、ケア開発に関する研究
3. 子どもとその家族のヘルスプロモーションに関する研究

■ 研究指導方針

小児保健医療分野における課題を明確化にし、子どもの最善の利益に資する看護実践とエビデンス構築への研究能力を育成します。
高度医療から在宅までを包括した高度な看護実践、研究による課題探究ができる小児看護専門看護師を育成します。



中村 幸代 教授
Prof. Sachiko Nakamura

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟405研究室

E-mail
nakamura@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 聖路加看護大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程修了（看護学）
聖路加看護大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程修了（看護学）
横浜市立大学医学部附属病院、市民総合医療センターで勤務後、
聖路加看護大学助教、慶應義塾大学看護医療学部講師を経て、2015年より現職

母性看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

- 1. 周産期のヘルスプロモーションに関する研究
- 2. 母子保健に関する研究
- 3. 助産学や母性看護学にかかわる教育・管理・国際に関する研究、ほか

■ 研究指導方針

研究と実践、研究と社会活動との実質的なつながりを意識し、実践的研究能力で現場を改革したり、地域への研究成果の還元ができるように支援します。

助産学分野（課題研究）

■ 研究テーマ

- 1. 周産期のヘルスプロモーションに関する研究
- 2. 周産期・育児期のケアに関する研究
- 3. 国際助産学や災害助産学に関する研究、ほか

■ 研究指導方針

エビデンスに基づいた助産ケアを追究し、女性、母子、家族、社会の多様な健康課題とニーズに対応できる高度な助産実践能力が修得できるように支援します。



researchmap



横浜市立大学
医学部看護学科
母性看護学研究会

横浜市立大学
母性看護学
研究会のホームページ



女性と助産師のための
冷え症研究
hiesho research for
women and midwives

妊産婦の
冷え症研究
公開サイト



山田 典子 教授
Prof. Noriko Yamada

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟709研究室

E-mail
yamada.nor.zx@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 横浜市立大学医学部看護専門学校第一看護科卒
東京医科歯科大学大学院論文博士取得（看護学博士）
札幌医科大学医学部法医学教室訪問研究員横浜市立市民病院、
横浜市立大学医学部附属病院、横浜市保健師経験10年を経て
横浜市立大学看護短期大学部助手、青森県立保健大学講師、札幌市立大学准教授、
日本赤十字秋田看護大学教授を経て、2023年より現職

精神看護学分野（特別研究、課題研究）

■ 研究テーマ

- 1. 精神科看護に関する研究
- 2. 精神保健に関する研究
- 3. 虐待等被害者のトラウマ・インフォームド・ケアに関する研究
- 4. フォレンジング看護に関する研究

■ 研究指導方針

精神看護学における援助方法、管理、病院から地域・在宅等、各々が関心を持ったテーマが追究できるよう、幅広い視点・幅広い場で必要とされる研究について指導します。



researchmap



精神看護学
ウェブページ



有本 梓 教授
Prof. Azusa Arimoto

連絡先
福浦キャンパス
看護教育研究棟716研究室

E-mail
arimotoa@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等 東京大学医学部健康科学・看護学科卒業
東京大学大学院医学系研究科修士課程修了 修士（保健学）
東京大学大学院医学系研究科博士課程修了 博士（保健学）
東京都板橋区保健師、東京大学助教、横浜市立大学准教授を経て、
2022年11月より現職

地域看護学分野（特別研究）

■ 研究テーマ

- 1. 地域看護の対象理解に資する研究（親子・成人・高齢者、家族・集団・組織等）
- 2. 地域看護の実践方法（行政、在宅、学校、産業）の可視化と効果評価に関する研究
- 3. 地域看護の対象理解と評価に向けた新たな指標開発に関する研究、ほか

■ 研究指導方針

地域の多様な健康課題と社会動向を察知し明確化する力、科学的根拠に基づく実践能力、地域看護学の実践の質の向上と学術の発展に寄与する研究成果を発信し政策提言できる研究能力を修得できるよう支援します。



researchmap

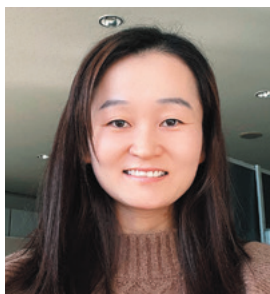


横浜市立大学
地域看護学
ホームページ



Minds 1020Lab
ウェブサイト

在校生の声



劉 香香
LIU XIANGXIANG

入学年度
2023年度

所属分野
先端成人看護学分野

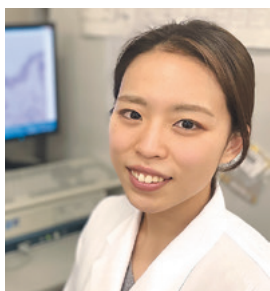
異文化の看護と留学経験による母国の摂食嚥下障害領域の発展を目指して

中国での看護教育の背景を持ちながらも、日本の文化や医療環境に長期間、身を置いてきた私は、さらに、視野を広げ、看護学への理解を深めたいと考え、大学院に進学を決めました。

急性期病棟に勤務していた中で、摂食嚥下障害の看護に興味を持ち、現在、この課題に関する研究を進めています。大学院の研究は未知で挑戦的なことが多いですが、アクティブラーニング、研究への探求心、クリティカルシンキング能力は少しずつ身につけてきたと感じています。

将来日本の大学院で学んだ知識、特に摂食嚥下障害に関する知見をより多くの中国人に伝え、中国の摂食嚥下障害領域の発展に少しでも貢献できればと思っています。

修了生の声



近藤 友美
YUMI KONDO

修了年度
2023年度

所属分野
看護生命科学分野

「なぜ」を追求して、患者さんに合わせた看護を考えていきたい

集中治療室で勤務する中で、なぜ鎮痛薬の効果に個人差があるのか、その差を埋めるにはどうしたらよいのか、という疑問を持ち、大学院進学を決めました。修士論文では、実験動物を用いて鎮痛薬の投与方法に関する検討を行いました。

基礎研究を行うことにより、目に見えている現象をメカニズムレベルで捉えることの大切さを改めて学ぶことができました。また、様々な背景を持つ先生方、院生同士でディスカッションを行うことで、臨床の視点を忘れることなく、研究が進められたと思います。

今後は「なぜ」を大切に、患者さんに合わせた看護を提供していきたいと思っています。



博士後期課程 各看護学分野 分野長紹介

研究分野 研究指導教授、連絡先	研究課題
<p>生命科学 教授 赤瀬智子 akase@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.薬物療法・補完代替療法のエビデンスに関する基礎研究 (鎮痛薬、鎮静薬、アロマセラピーなど) 2.科学的根拠に基づくスキンケア方法の開発 (肥満や化学療法に伴う皮膚障害、創傷など) 3.安全安楽な術後の管理とQOL向上に関する研究 (疼痛管理、慢性痛・睡眠障害・せん妄予防など) 4.症状・生体機能に対する評価指標の開発
<p>看護ケアシステム開発学 教授 佐藤政枝 m_satoh@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護におけるケアシステムの開発と理論の構築 2.学習者中心のディープ・アクティブ・ラーニングを基盤とした教育システムの開発 3.人間-環境系の理論を基盤としたケア環境デザインの開発
<p>看護管理学システム 教授 勝山貴美子 katuyama@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.医療従事者-患者関係とアウトカムに関する研究 2.看護サービスの質改善における職務満足、人的資源管理に関する研究 3.看護管理者の教育プログラムの開発と評価に関する研究 4.組織の特性に応じた看護管理学システム構築のための研究
<p>成人看護科学 教授 玉井奈緒 tamai.nao.tx@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.成人期におけるセルフマネジメントを支えるケアの開発・評価・実装 2.がん治療中の患者の副作用に対するケアに関する研究 3.可視化技術を活かしたアセスメントとケア開発に関する研究
<p>老年看護学システム開発 教授 叶谷由佳 ykano@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.高齢者の健康増進・QOLに関する研究 2.老年看護方法の開発に関する研究 3.高齢社会における退院支援システムや多職種連携システム開発に関する研究 4.高齢社会における在宅看護・ケアシステム開発に関する研究
<p>小児看護学 教授 佐藤朝美 sato0515@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.重症心身障害児のコミュニケーション支援開発に関する研究 2.病気や障がいをもつ子どもの発達・療養支援、ケア開発に関する研究 3.子どもとその家族のヘルスプロモーションに関する研究
<p>ウィメンズヘルス看護学 教授 中村幸代 nakamura@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.女性の冷え症の健康支援に関する研究 2.周産期のヘルスプロモーションへの効果的支援に関する研究 3.女性の健康とQOL向上に資するケア開発の研究
<p>社会精神看護学 教授 山田典子 yamada.nor.zx@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.虐待や嗜癖行動、法医（フォレンジック）看護の対象者への支援に関する研究 2.アプリを用いた体表観察と看護記録に関する研究 3.精神障害者とその家族に関する研究
<p>地域ケアシステム看護学 教授 有本梓 arimotoa@yokohama-cu.ac.jp</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域ケアシステム看護の新たな理論構築や評価指標・技術開発に資する研究 2.全世代の地域住民の健康とQOL向上に資するケア開発・評価・実装（妊娠期・小児期・青年期・成人期・老年期・終末期） 3.民産官学協働学際研究による地域ケアシステム開発に向けた研究 4.孤立・孤独対策など地域環境構築を介したケア開発・評価に関する研究

専攻長メッセージ



横浜から世界へ 次代の看護学を担うリーダーを育成します

本学大学院看護学専攻では、人々のよりよい健康の維持や改善のために必要な看護学を、創造的に、科学的に、楽しく追究していきます。看護学の成果を可視化できる看護教育研究者および看護学を基盤に質の高い実践に貢献する看護実践者の育成を目指します。看護学の可能性を一緒に広げていきましょう。

看護学専攻長 叶谷 由佳

2025年度 入試概要

	博士前期課程		博士後期課程
	第1期募集	第2期募集*	
募集人員	25名 (クリティカルケア・周麻酔期看護学分野5名程度、助産学分野3名程度含む)	若干名	6名
出願期間	2024年8月5日～8月16日 消印有効	2025年1月6日～14日 消印有効	
試験日	2024年9月5日	2025年1月28日	2025年1月29日
選抜方法	筆記試験（英語、専門科目）および面接試験 英語は英語力に関するスコアが必要になります。		口述試験

*第1期試験の結果によっては、第2期試験を実施しない場合があります

■ オープンラボ

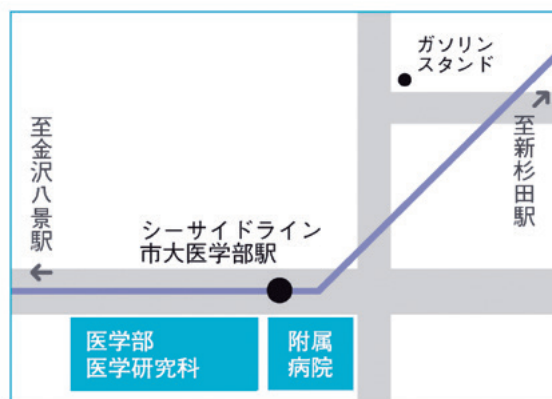
以下の日程で看護学専攻オープンラボを開催いたします。各看護学分野の教員が皆様をお迎えし、様々な質問にお答えします。本学看護学専攻の受験を検討中の方、大学院進学を検討中の方など、この機会に是非お気軽にオープンラボにご参加ください。

- 開催日時：2024年4月19日（金）16時～
 - 開催方法：オンライン（Zoom）
 - 内容：専攻の紹介、入試についての説明、在校生による大学院体験談、各分野によるオープンラボ、大学院講義の体験受講など
- ※申し込み方法等の詳細は、看護学専攻入試関連情報ページをご確認ください。

看護学専攻入試関連情報ページ
<https://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/admis/index.html>

■ 交通アクセス

横浜市立大学福浦キャンパス
〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
JR「新杉田駅」または京浜急行「金沢八景駅」より
シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分



連絡先

受験を考えている方でご質問のある方は下記までお気軽にお問合せください。

横浜市立大学 福浦キャンパス 医学教育推進課 看護学専攻担当
Tel：045-787-2532（平日 9：00～17：15） E-mail：ycugradkng@yokohama-cu.ac.jp
Web： <https://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/>

